

～閉祭式・後夜祭号～

Newspace

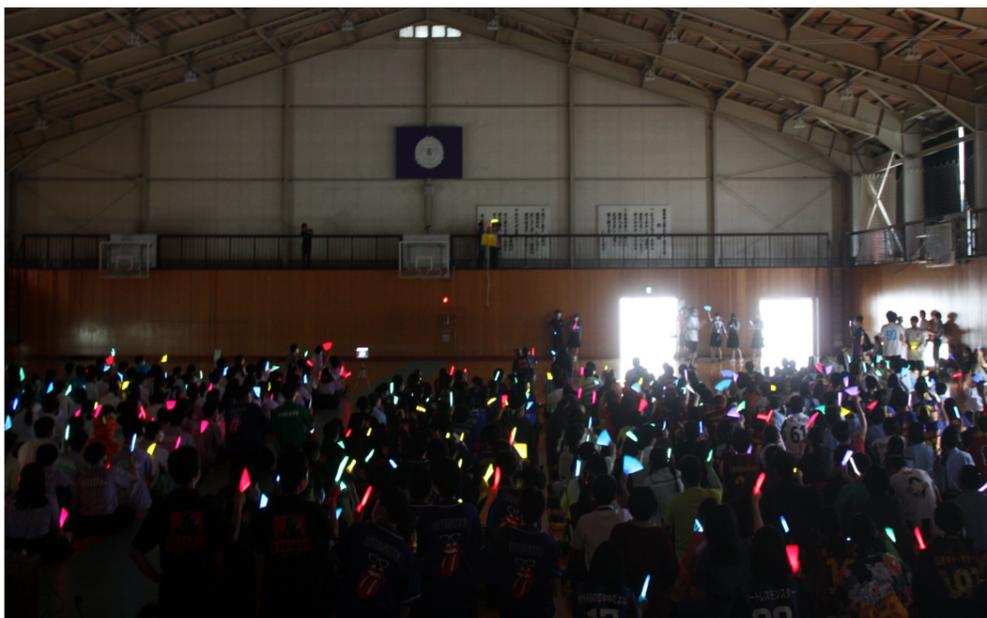
郡山東高校新聞 速報版95号

編集・発行
郡山東高等学校新聞部
発行人 松本 優衣
編集人 村上 隼人
〒963-8832 福島県
郡山市山根町13-45
電話 024-932-0898

宇宙祭 大成功で幕を閉じる



↑最優秀賞を獲得し、歓喜する3年6組の生徒



↑全員でサイリウムを振って宇宙祭の成功を喜ぶ東生

投票で選ばれた生徒らによるファッションショー



↑3位に選ばれた3年2組の 増子颯斗さん、滝田海桜さん



↑2位に選ばれた2年1組の 佐久間拓実さん、由村奈菜さん



↑1位に選ばれた3年1組の 橋本光笑さん、柳沼隼さん

先月30日から今月2日にかけて第8回宇宙祭が行われた。2日目は前日に引き続き校内公開が行われ、どのクラスも大いに盛り上がりを見せた。閉祭式ではクラス旗、クラス企画それぞれの投票の結果が発表され、クラス旗部門において3年6組が最優秀賞を受賞し、また、クラス企画部門でも3年6組が総合優勝を受賞した。最優秀賞と総合優勝を受賞した3年6組の生徒は、閉祭式で表彰された。式の後には宇宙祭実行委員が制作したくす玉が披露され、閉祭宣言が行われ、第8回宇宙祭は大成功で幕を閉じた。

投票結果は以下の通り	▽クラス旗部門	▽クラス企画部門
最優秀賞	3年6組	アイディア賞3年7組
学校長賞	2年1組	総合優勝
3年6組	3年7組	3年6組
1年6組	1年3組	準総合優勝
1年3組	1年4組	3年7組
2年生の部	2年4組	1年生の部
1位	2年1組	1位
2位	2年2組	2位
3位	3年6組	3位
3年生の部	3年7組	3年1組
1位	3年6組	
2位	3年7組	
3位	3年1組	

宇宙祭2日目となる今月2日は前日に引き続き校内公開が行われた。また、閉祭式にて行われた各種表彰では、クラス旗部門とクラス企画部門の2部門で3年6組が1位を受賞した。式の最後には宇宙祭実行委員が制作したくす玉が披露され、閉祭宣言が行われ、第8回宇宙祭は大成功で幕を閉じた。

クラス旗 最優秀賞 クラス企画 総合優勝

3年6組がダブル受賞

ダブる

←閉祭宣言のくす玉



後夜祭

大いに盛り上がる

第8回宇宙祭のファイナーは、計4組が歌やダンスレトとなった後夜祭は有志を披露し盛り上げた。また、先月30日に閉祭式が行われた。有志発表でレモニーで行われたファッションショーコンテストの投票で上位に入った3年6組が再びランウェイを歩いた。1位になった3年1組の橋本元太さんは「僕をハウル役に選んでくれてありがとうございます」と笑顔で語った。(栞)

↑タタ芸を披露する有志のグループ

東生手記

文化祭は高校最大の行事であり、その思い出は一生物になる。本番だけでなく、文化祭に至るまでに費やす時間も本番と同様の、思い出に残る楽しい時間はずだ。▼中学校の文化祭ではさまざまな役割がある中で、私はヒックアートの担当になった。ヒックアートは中学校の文化祭の目玉の1つであり、毎年全校生徒に驚きと感動を与える。生徒が考えた絵を巨大化させ、全校生徒の人数に分割する。それらを生徒各人が色を塗り、ヒックアート担当がそれらを集め、1つにつなぎ合わせる。総勢420人が色を塗るため、当然ずれやぼみ出し、色の塗り間違いが出てくる。それらを私たちが1つ1つ修正していく。▼この作業は時間と手間がかかり、とても大変だったが、私はこの時間は一緒に担当になった友人たちと雑談しながら行っていた。修正作業は細かい作業が要求されるが、集中し過ぎるとすぐに疲れてしまい、かえって作業効率が悪くなるように思った。肩の力を抜いて、緩く取り組んだ方が気が楽だった。時には友人たちとふざけ合いながら、時間ぎりぎりまで作業を進めた。もちろん度が過ぎて先生に注意されることもあった。私たちはほとんど毎日取り組んだ。▼この最大の醍醐味は、完成した絵を全校生徒の誰よりも早く見られることだ。ステージの半分を覆うほどの大きさのため、近くで見るときの迫力は壮大だ。全ての作業が終わると、改めて絵を見ると喜びとともに達成感が湧いてきた。これまでの苦労と努力が報われて本当に安心した。そして今、この準備時間はない思い出となっている。高校生活最初で最後の文化祭。数え切れない、思い出に残る時間が生まれたいと思う。(ムラマル)

